

平成30年度 第9回 喜多方市立図書館 利用者のつどい 議事録

日時 : 平成30年10月13日(土) 13:30~15:00

場所 : 喜多方市立図書館2階 第2閲覧室

出席者: 公募4名(一般)、文化課1名、図書館3名

配布資料: ①『喜多方市立図書館利用案内』

②『図書館だより(ききみみずきん、わくわくとしょかんメール、喜多方図書部)平成30年度発行(春・夏・秋号)各1(※喜多方図書部は秋号のみ)』

③『平成30年度喜多方市立図書館事業案内』

④『平成30年度喜多方市立図書館主要業務実施概要』

⑤『喜多方市立図書館の概要2018』

⑥『新聞雑誌一覧』

1. 開会

2. 主催者挨拶(喜多方市立図書館 館長)

3. 図書館担当課挨拶(教育委員会文化課 副主任主査)

4. 議事(1) 喜多方市立図書館 現状報告

(2) ディスカッション

<テーマ>

- ① 図書館の催し物について
- ② 図書館広報紙の内容について
- ③ 意見交換(ご意見ご要望等)

配布資料①～⑥を用いた現状報告を喜多方市立図書館より説明後、各テーマについて意見交換を実施。

テーマ①図書館の催し物について ご質問・ご意見等

利用者A 以前に2度「図書館のタベ」に申し込んだが、一度目は満席で参加出来ず、二度目もほぼ満席の状態であった。それらの傾向から、開催時期よりも主に内容によって募集に変動があるのではないか。

図書館 「図書館のタベ」に関しては、図書館で最も広い2階第一閲覧室にて開催しておりますが、スペース上限りがあり、総定数を上回る申込みがあった際は予約をお受で出来ない場合もございます。また、来館に負担がかからない様、冬季を除く時期へイベントを集中して実施をしております。今後、開催時期のみならず、実施内容も含め検討してまいります。

利用者 B スペースや設備等で制限のある図書館において、館内に限らず、別の施設を用いたイベントの開催は良いアイデアだと感じる。

図書館 夏に開催した「バリアフリー上映会」は、上映設備が図書館には無い為、中央公民館と共催し、喜多方プラザ内小ホールで上映をいたしました。図書館で上映が可能であれば、合わせて原作本の貸出やその他資料の利用促進に繋がると考えられますが、現状の設備では館内での上映会開催は難しいと認識しております。

利用者 B お子様から高齢者まで世代間交流が可能なイベントがあれば良いと感じる。ユニット折り紙では、時折お子さんの姿も見受けられ、このようなイベントがさらに多く実施されれば良いと感じる。

図書館 今現在実施しているイベントは、主に世代別の傾向にあり、世代間交流の機会が少ない現状でございます。今回のご意見を参考に、次年度のイベント計画時の検討事項とさせていただきます。

テーマ②図書館だよりの内容について ご質問・ご意見等

利用者 C 年4回広報紙を発行しているとのことだが、各家庭にはどの様に配布しているのか。各公共施設への設置だけでは目に付きづらく、各家庭への回覧物の中に図書館広報紙も入れるべきだと感じる。図書館としてのイメージが強く、図書の利用以外に様々なイベントを実施していることを認識している市民は少ない。

図書館 以前の開催時にも同様のご意見があり市へ依頼いたしました。回覧物数を減らす意向により却下され、現在に至ります。

利用者 C それらの意向があるのは認識しているが、公共施設である図書館の情報は、市民にとって必要性のある情報だと感じる。年に4回程度であれば、部数も少なく済む回覧に加えることを再度検討して頂きたい。

利用者 A 市の広報紙には新着図書等の情報掲載があるが、同様に図書館広報紙もそれらに準じる情報紙であることから、より市民の認知度と上げる為に教育委員会文化課を通して再度依頼すべきと考える。

文化課 毎月の市の広報には、同月から翌月中旬までのイベント情報等は掲載しております。図書館広報紙の回覧条件として、発行月日を明確にし年間計画を出すことが出来れば、回覧物として広報に提案することは可能だと考えられます。

図書館 「わくわくとしょかんメール」に関しては、市内の全小中学校生徒に各1部配布しております。また、中高生世代の図書館利用促進を目的とし発行した「喜多方図書部」(年2回 春・秋 発行)は、今秋より市内の全中高等学校生徒に各1部配布を開始いたしました。一方で、ご意見にあった通り、大人向けの広報が不十分であると考えられます為、回覧をはじめ広報活動について再度検討してまいります。

利用者 B 広報紙に図書の表紙画像も合わせて掲載している為分かりやすく、貸出の促進に繋がると感じる。

テーマ③その他意見交換 ご質問・ご意見等

利用者 A 会津図書館やいわき、白河の図書館等を視察し、特に白河は月刊誌が多くあり、また、CD等は各分野ごとに分かりやすく配置されており、利用のし易さを感じた。一方、喜多方市立図書館のCDの棚は分野ごとに分かれておらず探しづらく為分類分けや表示の改善をしてほしい。

図書館 各分野ごとに目印になる仕切り板等挟み、見やすくする等改善の余地が考えられます為、検討の上改善に努めてまいります。

利用者 A 図書館が古くスペースも限りがある為、ある程度本が古くなると書庫へ移動されてしまう。書庫は立入禁止で、毎回スタッフへ確認する必要があり、不便さを感じる。もっと古い本も閲覧出来る様にして欲しいが、施設の狭さや老朽化の要因により現状困難であることから、今後教育委員会側で善処して頂きたい。

図書館 現時点での改善は困難でございます為、本棚に希望のジャンルが無い場合は、気軽にスタッフへお声掛け頂き、書庫出納の対応をしてみたいと存じます。

利用者 B 図書館3階部分を開架スペースとして利用者へ開放することは出来ないのか。

図書館 3階は郷土民俗館として教育委員会文化課が管理している為、図書館のスペースとして開放することは現時点では出来かねます。3階郷土民俗館は、図書館でも鍵を所持しており、図書館開館中であればどなたでも見学頂けます。

利用者 C 市町村合併に伴い、各所に郷土民俗資料館が点在していることから、一つに集約する必要があると考えられる。喜多方プラザ内等にも同様の施設があり、これらの一つに集約することで、3階部も含め図書館の施設として広く利用出来る余地があると感じる。今後、教育委員会文化課で検討頂きたい。

利用者 C 図書館と各小・中・高校の学校図書館との互いの保管関係等の協議を実施する機会はあるのか。図書館同士の意思疎通及び相互連携を図り、学校図書室では補えない部分の図書館支援の在り方を明確にすることで、学習での利用及び貸出促進に繋がるのではないかと感じる。また、喜多方市立図書館以外の図書の相互貸借の共有等、状況に応じた案内が出来ればと感じる。

図書館 小・中学校の学校図書館には学校司書を TRC から派遣しており、連携がとれていると認識しております。高校の学校司書は、おそらく福島県の職員である為、現状、相互連携の機会を特別設けてはおりません。一部高等学校の司書様には積極的に図書館での団体貸出を利用頂いており、今後、各学校図書館からお話を伺う等より連携を図ってまいります。

利用者 C 貸出中の資料について、返却予定日は守られるべきであり、予め返却滞納を想定・許諾している姿勢は良くないのではないかと感じる。予約した資料がいつ頃手元に来るのか、返却予定日を踏まえ明確に回答して欲しい。

また、休館に伴い貸出期間が3週間となる期間もあり、良いサービスだと感じた。冬季等の来館が負担となる季節は貸出期間を延長することは可能か。人気のある資料等全ての資料で実施が困難な場合は、ジャンルを絞って実施する等検討頂きたい。

図書館 返却期限内に図書館へご連絡頂き、利用中の資料へ予約がなければ本の延長が可能であり、最大4週間利用頂けます。必要に応じて、それらのサービスも活用頂き、現状は対応してまいりたいと存じます。今後、3週間貸出についても検討いたします。

利用者 C 「書庫開放デー」は何日間の実施か。書庫開放を毎週または毎月一回程実施してほしい。現状立入禁止の為、古い資料を自ら選んで手にとる機会が無く、関心が高いと思われる高齢世代に開放希望の声が多いと考えられる。また、ポスター掲示以外にも広報への掲載等、全市民への告知が出来る様心掛けて頂きたい。

利用者 A 「書庫開放デー」のポスターは掲示しているか。

図書館 ポスターを掲示し告知を行っております。今年度から年2回春・秋の読書週間のイベントとして開催し、図書館広報紙のイベントカレンダーにも開催の旨を告知しておりますが、広報紙のイベント詳細を掲載するスペースにも限りがあり、ピックアップしながら告知させて頂いております。今後、広報紙への掲載法についても改善してまいります。

利用者 D 今年度のリユースブックフェアへ出す資料数は何冊か。

図書館 書籍・雑誌合わせ約3,000冊を見込んでおりますが、状態が悪い資料や市民の皆様よりご寄贈頂いた中で図書館では受入が出来なかった資料も含まれません。

利用者 D 近年新しく出来た図書館を数箇所拝見し、施設によってはCDが視聴出来る等、各図書館の特性を感じたのと合わせ、蔵書数の多さに驚いた。喜多方図書館も自館ならではの特性を活かした図書館づくりや資料収集に励んで頂きたい。その他、他館を含めた蔵書検索が出来る様なサービスがあれば良いと感じる。

利用者 D 資料のデジタル化も将来的に行ってゆくのか。

図書館 現時点ではデジタル化等の予定はございません。

利用者 B 公共施設の建て直し計画があると耳にしたが、図書館の新設に伴い、AV 資料の更なる充実等は検討しているか。

文化課 新設の検討がなされているのは事実でございますが、建設場所や規模等含め現時点で決定していることはございません。今後参考として、県内の施設の動向を調べ、マーケティングの観点からニーズ把握の必要性があると認識しております。公共事業である為、利用者アンケート等でニーズを探りつつ、実際の需要があるのかも含め導入を検討させて頂く可能性がございます。見解として、更なる規模拡大等は困難な可能性がありますが、効率面を考慮し、最大限の有効的な活用が可能な、今まで以上の施設を目指し、検討がなされる予定です。規模に関しまして、どれだけのスペースが確保出来るのかは決まっておらず、スペースに伴うデジタルコンテンツの導入についてもニーズ次第での検討となる可能性がございます。

利用者 A 現図書館の立地面から見ても不便であることから、新たな場所へ建設して欲しい。喜多方市は、文化面では県内でも特に遅れている為、総合の文化施設の一部として図書館の新設をして頂きたい。

利用者 B 自身が高校時代の頃より利用していたこの施設に思い入れもあり、可能な限り現図書館での運営に励んで頂きたい。築47年を経過している等ハード面の課題も多くあることも認識しているが、新しさばかりに囚われず、古きを大切にしたいと感じる。

利用者 C 現図書館の立地は、地理的には非常に良い場所にある。今後新たな場所への新設となると、広大な土地を求めて郊外へと建設される傾向にあり、喜多方市の年代別人口で多くの割合を占める高齢者層にとっては利用が困難になってしまう可能性がある。その点も考慮した上で検討頂くと共に、当面は現図書館の三階部を含め、いかに有効的に活用するのかを念頭に運営に励んで頂きたい。

利用者 A 当面は現図書館で運営していくのであれば、駐車場の狭さに問題があり、改善

が必要と感じる。

利用者 C 周辺の道路が広い為、交通面ではあまり問題がない様に感じる。周辺の公地利用も含め対応すれば駐車スペースの問題は解消できるのではないか。特に高齢者層にとって、立地の問題は利用頻度に大きく影響すると思われる。

利用者 D 公民館を通して図書館所蔵の資料を利用出来るサービス等、公民館と図書館の連携は可能なのか。

図書館 公民館図書室との更なる連携に向け、それらのサービス提供が実現出来るよう現在調整を図っている段階です。

利用者 C 広域の利用者等は来館が困難と思われる為、各地域の公民館を通して図書館サービスが利用出来れば、サービスの充実及び利用者数の増加に繋がるのではないか。

利用者 D 資料を購入する際の選書はどのような基準で行われているのか。

図書館 喜多方市の選書基準に則り、全スタッフによる選書会議の後、司書資格を所持するスタッフ数名での最終的な選書を行っております。

利用者 D 選書基準は、新刊に限られるのか。例えば、古本屋にある貴重な資料等を所蔵に加えることは可能か。

図書館 新刊に限った選書ではございません。利用の多い読み物は人気作家の作品充実に努めておりますが、類書の所蔵がある場合や出版から3年以上経過し情報が古い資料は、早い段階での除籍対象となる為、極力新しい資料の購入を行っております。

利用者 C 喜多方市の選書基準があるとのことだが、市民は全国的・全世界的に有名な作品に興味・関心があり、喜多方市の基準に限らず全国区で指定管理等の運営を行っている TRC からの情報等も有効的に活用し選書を行うべきではないか。また、選書の際は「利用があるかどうか。」という点に重きを置き、人気の作品

やしっかりとした内容のものを選書頂きたい。

利用者 C 新聞の書評や本屋大賞等の評価は、選書時の判断基準に用いられているのか。

図書館 各評価は常時参考にし、選書を行っております。また、ロングセラー作品は買い替え等を行い、より良い状態で市民の皆様にお貸出しが出来る様努めております。特にご要望の多い読み物は人気作家以外の作家も幅広く所蔵する様心掛け、リクエストも可能な限りお受けしております。今後更なる情報収集に励み、選書時の判断材料として活かしてまいります。

利用者 C 個人の資格取得に関する資料は所蔵しないという基準となっているか。
また、調べ学習等で活用出来る資料の充実に努めて頂きたい。

図書館 資格関連の資料は常時最新版が求められる可能性がある為、図書館では所蔵しない方針としております。また、調べ学習に用いる事典・辞書等は禁帯出ではございますが、最新の情報が掲載されている資料への買い替えに努めております。

利用者 C 各閲覧席へ老眼鏡を設置することは出来ないか。

図書館 現在は、カウンター横の記載台上へ老眼鏡2本・虫眼鏡1本設置しております。今回のご意見を参考に、今後各閲覧席への設置についても検討いたします。

利用者 A 最近では、他の図書館でも週刊誌が設置されるようになってきたが、当館では困難なのは承知している。しかしながら、希望として、月刊誌『Stereo (ステレオ)』（音楽之友社／出版）の設置を検討頂きたい。現在、当館で所蔵しているオーディオ関係の資料は3冊程度だが、来館の度にほぼ貸出の状態になっている。よって、オーディオに関する雑誌も需要があるのではないか。
また、月刊誌『ラジオ深夜便』（NHK サービスセンター／出版）においてもラジオやオーディオ等に関心のある高齢者に需要があると考えられることから、同様に検討頂きたい。

利用者 A 図書カード所持本人が来館しなければ、その家族であった場合でも貸出が出来

ないのは不便だと感じる。身分証による住所確認の上、図書カード所持者と家族である事が確認出来るのであれば、場合によっては貸出しを許可して頂きたい。指定管理以前は、本人が来館していない場合でも貸出可能だった為、現在の方針の変更・改善を検討頂きたい。

図書館

図書カード裏面に印字されている通り、カードのご利用はご本人様のみに限らせて頂いておりますが、当館の対応もマニュアル通りの面もあり、反省すべき点と心得ております。今回のご意見を元に、今後の検討事項とさせていただきます。

5. 閉会